



豊丘村介護予防拠点施設竣工にあたって

平成12年4月からの介護保険制度の施行に伴いまして、既存の「デイサービスセンターほほえみ」は介護保険法に基づく介護サービスを提供する施設となつたために、自立できる元気な高齢者の拠り所や介護予防の拠点となる施設が新たに求められておりました。そのような状況に鑑みて村では、施設の建設に平成12年度介護予防拠点整備事業での採択を申請していたところ、国・県の深いご理解を賜りまして事業採択されました。

そして平成13年3月の着工以来関係機関のご支援ご協力をいただき、また、設計・施行の請負業者におかれましては誠心誠意努力され、本日ここに立派に竣工いたしました。

この施設は、村が現在自立できる高齢者を対象に行っております「はつらつデイサービス事業」の拠点施設とするほか、高齢者や障害を持った方々が簡単な手作業や交流をしたり、地域住民の皆さんのが集会や交流に利用したりと幅広い活用を期待するものであります。

今後も高齢化の進展に伴い元気な高齢者が益々増加する中、この施設が文字通り拠点施設となって高齢者や地域住民の社会参加や交流の場となることと、関係各位のより一層のご指導ご協力をお願い申し上げまして、介護予防拠点施設の竣工にあたってのご挨拶をいたします。

平成13年10月
豊丘村長 吉川達郎



デイホーム室(生きがいデイサービス専用)

生きがいデイサービスの参加者が、体操(風船バレー、手ぬぐい体操など)、各種ゲーム、うちわ作り、カレンダー作り、カルタ作り、押し花作り、小学生との交流会、講習会などに利用します。

午睡室(生きがいデイサービス専用)

生きがいデイサービスの参加者が、午睡に利用します。



作業室・機能回復訓練室

老人クラブや地域のお年寄りが集まって簡単な手作業(編み物、ぞうきん縫い、趣味の講座)などに利用できます。

高齢化福祉社会の生きがいある拠点を目指して



厨房

生きがいデイサービスの昼食の際の味噌汁作りに参加者が利用するほか、高齢者や独居老人の料理講習会、地域の料理講習会、食生活改善講習会などに利用できます。



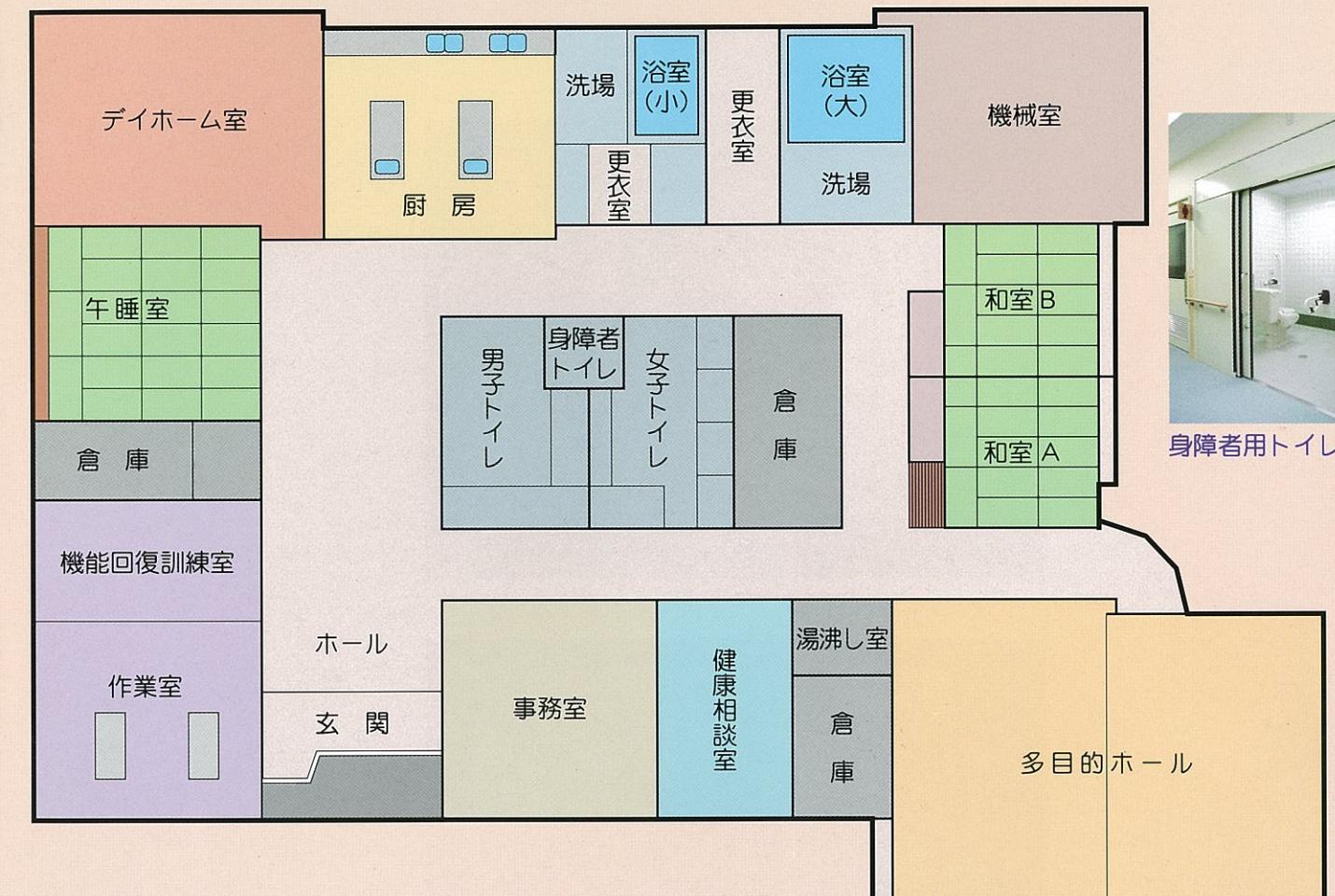
浴室

生きがいデイサービス参加者の入浴の場のほか、一般の方も利用できます。



和室(A・B)

地域の高齢者が気軽に集まってお茶を飲んだり、食事をしたりして交流、親睦を図るほか、福祉関係各種団体や地域住民の小会議などにも利用できます。



事務室

生きがいデイサービス職員や管理人の事務室として利用します。



健康相談室

高齢者や障害者などの個別相談に応じるほかに、福祉関係各種団体の小人数での打ち合わせなどに利用できます。



多目的ホール

介護予防教室、高齢者の健康教室、食生活改善教室、高齢者と子供たちとの世代間交流、障害者と健常者の交流、各種集会など多目的に利用できます。

事業の概要

事業費		単位:千円
本体工事費		
設計監理費	6,535	
建設電気設備工事費	126,000	
機械設備工事費	50,610	
[小計]	183,145	
その他		
外構工事費	5,250	
備品購入費	6,000	
[小計]	11,250	
[合計]	194,395	

財源内訳	
国庫支出金	100,000
起債	73,700
一般財源	20,695
[合計]	194,395

建物規模
構 造 鉄骨造平家建
施設内容 作業室
午睡室
デイホーム室
厨房
浴室(大・小)
事務室
健康相談室
多目的ホール
和室(A・B)
機械室
通路・トイレ・その他
総面積 773.19m²

建設概要
設計監理 小澤實夫一級建築士事務所
施 工 神稲建設株式会社(建設・電気)
明和・タナダ建設共同企業体(機械・設備)